



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

仮宿地区

発行：平成27年1月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

仮宿地区における復興事業のうち、これまでの経緯、土地利用計画、防潮堤整備、事業実施スケジュールについて説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。また、防潮堤はタブノキを切り整備することで了承いただきました。

開催概要	開催日：平成26年12月18日（木）	時間：18：30～19：30
	場所：鶴住居公民館仮宿分館	参加人数：10人



これまでの経緯

平成25年 5月 9日（木） 仮宿地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会

- 最新の土地利用計画について
- 今後のスケジュール
- 災害危険区域の設定について
- 私的整理ガイドラインについて
- 住宅再建支援制度について

ご意見をふまえた
計画の見直し

平成25年 11月 18日 説明会（防潮堤等）

平成25年 12月 意向調査による設計の見直し

（公営住宅3戸、自立再建2戸から自立再建4戸への設計見直し）

平成26年 2月 20日 土地境界立会及び設計説明

平成26年 7月 29日 町内会との協議（石碑等について）

平成26年 11月 14日 北ブロック共同提案体協定変更

平成26年 12月 18日 施工業者決定

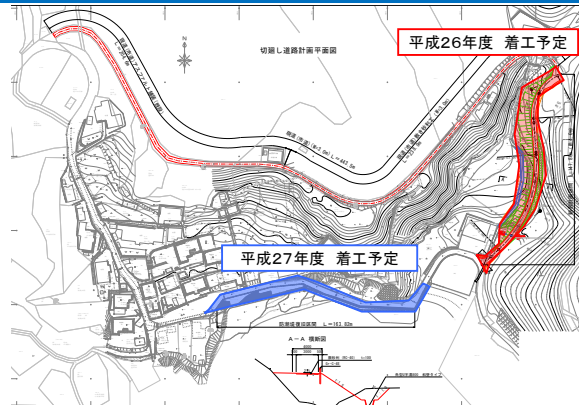
事業計画案の詳細図

最新の土地利用



【別資料 8 ページ】

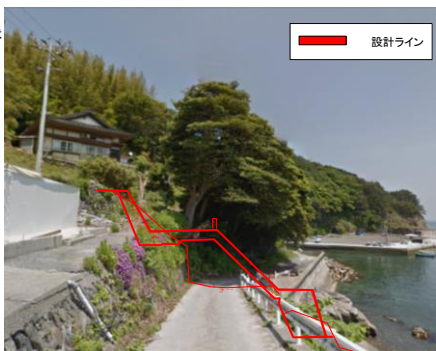
仮宿漁港海岸災害復旧工事発注予定



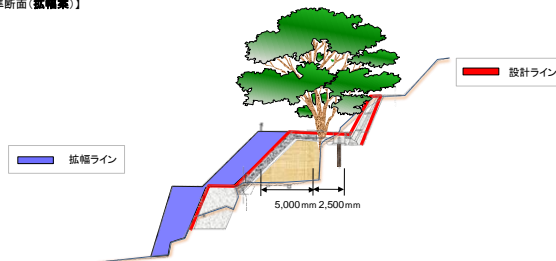
【別資料 10 ページ】

仮宿漁港海岸復旧工事

【既存樹木現況】
現況としては、枝が現道路にかぶさっている状態である。



【防潮堤標準断面（拡幅案）】



既存樹木を残した場合は、現在の計画よりも約3m海側へ拡幅する必要があり、追加費用は数億円かかるため本工事においては現実的でない。

【別資料 11、15 ページ】

事業実施スケジュール(案) 【仮宿地区】

凡例 → 黒：見直し前
→ 赤：見直し後

地区	項目	平成25年度				平成26年度				平成27年度				平成28年度				
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
仮宿	まちづくり協議会	● 5/9																
	設計・協議																	
	用地買収																	
	造成工事																	
	再建住宅(宅地引渡し)																	
	道路整備工事																	
	防潮堤工事																	
	漁港海岸災害復旧工事																	

※進捗状況に応じて前後します。

【別資料 17 ページ】

このような意見をいただきました

- 以前の防潮堤説明会の際に、タブノキは切るということになっていたはずだが。木があると不便である。
 タブノキを切っていか改めて復興まちづくり協議会の場でご意見を伺いたいとの考えです。計画では最低限2本は切る予定です。
- 道路を整備することが第一優先である。タブノキは他の地域では珍しいかもしれないが、仮宿地区ではこの道路以外でも群生している。2本を残すことに事業費が数億円かかることは現実的でない。人の命の方が大事である。
 この場所のタブノキは保全する木として指定されていません。2本切ることによって同意いただいたので事業を進めます。
- 船上げ場の施設整備はどうか？
 船底があたらないように平場に高さを合わせて整備します。現状では、石積みとなっていますが、整備にあたっては、石積みの職人がいないため、コンクリートで整備し、滑り材で覆います。コンクリート敷きを今より海側まで伸ばして段差を解消し、船の底が傷つかないようにします。巻き上げ機は市で復旧します。
- 避難路はどう整備するのか？工事が終わっても残すのか？
 新防潮堤の工事に伴い、仮設道路の扱いで整備します。勾配が16%と急な坂もありますが、幅員4mの表面舗装で整備します。
 仮設道路扱いなので、残すことについては、地元との意見交換及び市内部の調整により、今後、判断されることとなります。
- 漁港からの避難路として、既設道路（P6 図中黒点線）を使うことになるが、現状で崩れている所がある。少し手を加えれば、使えるので直してほしい。
 現地を確認いたします。
- 既設道路（P6 図中左側の灰色太線）で水路のグレーチングが痛んでいる。落ちそうな状況で危ない。
 現地を確認して対応します。水路内も破損がないか確認します。（建設課で対応）
 鉄板を敷いているところは、防潮堤工事の整備に併せて対応します。（水産課で対応）

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。
 1日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
 釜石市復興推進本部
 TEL：0193-22-2111(内線 132)
 FAX：0193-22-6120